

金谷山 界限



1 日本スキー発祥記念館

明治44年（1911）1月12日、日本で初めて本格的なスキー指導が上越市で行われたことから、当市は「日本スキー発祥の地」とされ、同日は「スキーの日」に制定されています。この記念館は日本スキー発祥80周年を記念して、レルヒ少佐がスキー指導を行った金谷山に建てられました。スキーが伝わった当時の貴重な資料やレルヒ少佐の遺品などを展示・紹介しています。

所 大貫2丁目18-37
☎ 025-523-3766
🕒 4～10月：9:00～16:30
11～3月：10:00～16:00
📅 月曜日（月曜日が祝日のときは翌日）、
祝日の翌日、年末年始
※夏休み期間中は無休
💰 一般460円／小・中学生、高校生160円

2 レルヒ像

一本杖スキー姿のレルヒ像は、日本スキー発祥50周年を記念して建てられました。

3 大日本スキー発祥之地碑

昭和5年（1930）に、日本スキー発祥20周年事業の一つとして建てられました。



小熊和助撮影



4 医王寺薬師堂

金谷山の中腹に医王寺薬師堂があります。この本尊が「銅造如来坐像」。白鳳時代の作で、国重要文化財に指定されています。童子のあどけない姿が愛らしいこの像は、「田舎なれども金谷の薬師」と江戸時代の民謡にも唄われているように、古くから信仰を集めてきました。寛永年間（1624～1643）に本像を篤く信仰した高田城主松平光長の母勝子（高田姫）が薬師堂を建立したと伝えられています。



国重要文化財
銅造如来坐像
5月5日御開帳



5 長州藩士・薩摩藩士の墓(官修墓地)

金谷山への登り口の墓地には、江戸時代中期から現代にかけての高田藩士とその子孫の墓があります。その上に、戊辰戦争で新政府軍に参加した諸藩士の墓があります。中でも目を引くのは、長州藩士と薩摩藩士の墓です。薩摩藩士80人の墓は一基にまとめて建てられ、西郷隆盛の弟・吉二郎もここに眠っています。



6 会津墓地

旧幕府軍についた会津藩士の墓は、薩摩藩士などの墓よりも少し北へ行った林の中にあります。戊辰戦争で敗れ、高田藩に謹慎の身となり、高田の地で亡くなった会津藩士の墓地です。

コラム

レルヒ少佐（1869～1945年）
（テオドール・エドラー・フォン・レルヒ）

オーストリア・ハンガリー帝国（当時）の軍人で、軍事視察のために来日しました。高田の第13師団に配属されたレルヒ少佐は、明治44年（1911）から約1年間、上越に滞在し、その間、長岡外史師団長の要請を受け、スキーの指導を行いました。レルヒ少佐が伝えたスキー術は、現在のように2本のストックを使わない一本杖スキーでした。